

# 「ビバー星人を助けよう！」

練馬地区主催

2006

第19回ビバーラリー

実行委員長

4団 ビバー隊長



5月21日、第19回練馬地区ビバーラリーが開催されました。スカウト104名(見学者を含む)リーダー62名(保護者を含む)の参加をいただき、無事終わることができました。

今回のビバーラリーのタイトルは、「ビバー星人を助けよう!」。“地球に迷い込んだビバー星人をスカウトが宇宙船でビバー星につれていく”というストーリーで豊玉南小学校の校庭をお借りして行いました。

「自己紹介ゲーム」(4団) 「地球を運ぼう」(3,7団) 「宇宙遊泳チャンピオン」(5団) 「宇宙のランデブー」(15,17団) 「隕石運び」(6,10団) 「彗星リレー」(8,16団) 「超新星爆発」(1,14団) 「ブラックホールに吸い込ませろ」(9,13団)

すべてを全体ゲームとして、8チームで8ゲームを対戦しました。ゲームとゲームの間に、ビバー星人とスカウトのスタンプを入れて、ストーリーを進めていきました。途中から、ビバー星人とスカウト(役)も各チームに入りゲームに参加しました。

「雨天でも行えるよう、学校の校庭と体育館を借りることができないだろうか?」と呼びかけたところ、7団ビバー隊長がお勤めの小学校をお借りすることができました。しかし当日は、日差しが強い五月晴れで、体育館はお弁当タイムにスカウト達の休憩場所として、使わせていただきました。

ビバー星人を無事にビバー星に送り届けたところで、最も成績が良いチームに「地球 ビバー星」の無期限無料定期券をビバー星人から送られました。「どこで使えるの?」というスカウトの質問に「NASAで使えるのだよ。」と答え、解散。各団ごとに戻ってから、可愛いビバー星人の焼印が押しあたるウッドキーホルダーの記念品を渡しました。

今回のビバーラリーは、「新しい仲間をつくろう!協力をしよう!」と、初めてのスカウトの名前を覚えて、みんなで楽しめるプログラムをたてました。

最後に、数ヶ月前より準備に当たって下さった実行委員の方々をはじめ、各団のリーダーの方々にこの場をお借りして、改めて御礼の言葉を申し上げます。

